

＜アスパラガスの栽培ごよみ(2年目以降)＞ 栽培記録は必ず記帳すること！

時 期		作 業	防 除 体 系			
月	旬		対象病害虫	薬剤と濃度(収穫前日数と総使用回数)	水100ℓ当り薬剤量	10a当り散布量
3	下	バーナー焼却・野そ除	野 ぞ	メリーネコりん化亜鉛		1カ所当り1～5g
4	上	春 肥 ① 雑 草 対 策 収 穫	一 年 生 雑 草	トレファノサイド乳剤 (萌芽前・雑草発生前1回)	300m ℓ	100 ℓ
	中					
5	中	春 肥 ②				
6	上	収穫打切り	一 年 生 雑 草 一 年 生 雑 草	ザクサ液剤 (前日まで2回以内・うね間処理) ゴーゴーサン乳剤(全面刈り後) (萌芽前1回・全面土壌散布)	300mℓ 250mℓ	150 ℓ 150 ℓ
		雑 草 対 策				
		雑 草 対 策				
		夏 肥 ①				
	中	中耕・培土	茎 枯 病	ベンレート水和剤 2,000倍 (前日まで4回以内)	50 g	300 ℓ
		堆 肥 散 布				
下	防 除	茎枯病・斑点病 茎枯病・斑点病・褐斑病	Z ボルドー 500倍 ロブラール水和剤 2,000倍 (前日まで5回以内)	200 g 50 g	300 ℓ 300 ℓ	
	防 除	ハスモンヨトウ・ネギアザミウマ	プレオフロアブル 1,000倍 (前日まで2回以内)	100mℓ	300 ℓ	
7	上	防 除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ダコニール1000 1,000倍 (前日まで4回以内)	100mℓ	300 ℓ
			タバコナジミミズ類・アザミウマ類	アベンジャーフロアブル 2,000倍 (前日まで2回以内)	50mℓ	300 ℓ
	中	夏 肥 ② 防 除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ロブラール水和剤 2,000倍 (前日まで5回以内)	50 g	300 ℓ
			防 除	茎 枯 病	ベンレート水和剤 2,000倍 (前日まで4回以内)	50 g
	下	防 除	アザミウマ類・ハスモンヨトウ	ディアナSC 2,500倍 (前日まで2回以内)	40mℓ	300 ℓ
8	上	防 除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ダコニール1000 1,000倍 (前日まで4回以内)	100mℓ	300 ℓ
			タバコナジミミズ類・アザミウマ類	アベンジャーフロアブル 2,000倍 (前日まで2回以内)	50mℓ	300 ℓ
	中	か ん 水 除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ベルコート水和剤 1,000倍 露地春どり栽培のみ(7日前まで5回以内)	100 g	300 ℓ
			防 除	茎 枯 病	ベンレート水和剤 2,000倍 立茎栽培のみ(前日まで4回以内)	50 g
	下	防 除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ダコニール1000 1,000倍 (前日まで4回以内)	100mℓ	300 ℓ
9	上	防 除	ハスモンヨトウ・アザミウマ類	カスケード乳剤 4,000倍 (前日まで2回以内)	25mℓ	300 ℓ
			茎枯病・斑点病・褐斑病	ロブラール水和剤 2,000倍 (前日まで5回以内)	50 g	300 ℓ
	中	防 除	茎枯病・斑点病	Z ボルドー 500倍 または ハウス栽培、立茎栽培(収穫中)	200 g	300 ℓ
			褐斑病・茎枯病・斑点病	ジマンダイセン水和剤 500倍 露地春どり栽培のみ(収穫終了後6回以内)		
	下	防 除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (前日まで3回以内)	33 g	300 ℓ
10	上	防 除	茎枯病・斑点病	Z ボルドー 500倍 または ハウス栽培、立茎栽培(収穫中)	200 g	300 ℓ
			褐斑病・茎枯病・斑点病	ジマンダイセン水和剤 500倍 露地春どり栽培のみ(収穫終了後6回以内)		
	中	防 除	茎枯病・斑点病	Z ボルドー 500倍 または ハウス栽培、立茎栽培(収穫中)	200 g	300 ℓ
			褐斑病・茎枯病・斑点病	ジマンダイセン水和剤 500倍 露地春どり栽培のみ(収穫終了後6回以内)		
ハスモンヨトウが発生した場合、フェニックス顆粒水和剤を散布する(9～10月)。台風などの強風や大雨の直前は、Zボルドーを散布する。ハダニが発生した場合コロマイト乳剤(ハウス栽培)。						

●…種まき ○…植えつけ ■…収穫

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名											
露地普通栽培					■								ゼンユウガリバー											
作 業 の 要 点																								
1. 標準施肥量 (kg/10a)																								
肥 料 名		総 量	春肥①		春肥②		夏肥①		夏肥②															
			融雪後から萌芽15日まで		収穫盛期		収穫打切後		1ヶ月後															
牛 糞 堆 肥		10m³					10m³																	
苦 土 石 灰		100	50				50																	
石 灰 窒 素		40	40																					
I B化成S 1号		80					80																	
鮮 菜 2 0 0		100	25		25		25		25															
※牛糞堆肥がない場合は、醗酵けいふん300kgを施用する。 ・収穫期間中及び根株養成期に色ざめが見られた場合は、硫安を施用する。																								
2. 収穫調製																								
・萌芽期に乾燥が続く場合は、スミサンスイ等でかん水する。 ・萌芽茎が27～30cm程度の長さになったら地際から切り取り収穫する。 ・収穫後アスパラガス束ねて、上部と下部を布等で縛り、予冷库へ搬入する。 ・高温期は1日2回収穫する。 ・春どり収穫打ち切り目安は、春どり栽培の場合、細い物(直径1cm以下)がほ場の7割程度を占めた時。立茎春夏どり栽培の場合は、株の状態に応じて春どり栽培より2～3週間早く打ち切る(参考：5年生株で50日間程度)。																								
3. 収穫打ち切り後の管理 茎を全刈り→除草剤(ザクサ液剤・ゴーゴーサン乳剤)→施肥(夏肥)→中耕・培土→堆肥散布 →支柱立て・ネット張り																								
4. 防除対応 茎枯病対策(2年目に茎枯病が多発する事があるので注意。※図1) ・茎葉刈取後及び融雪後、ほ場が乾いた頃に、バーナーではほ場を全面焼却を行う。 ・収穫打ち切り3～5日後を目安に防除を開始する。 雨が多い場合は散布間隔をつめて防除する。 乳剤以外の剤を散布する際には展着剤(クミテンもしくはマイリノー)を加用する。																								
5. ほ場管理 1)ほ場清掃:茎枯病の伝染源となる前年茎が株元に残らないようにする。 2)整 枝:病害が蔓延しないよう、間引きを行い、風通しを良くする。直径1cm以上(Lサイズ)のものを1株当たり8本程に仕立てる。(※図2) 3)倒伏防止:支柱を立ててビニールバンド又はアスパラネットを張り(地面より1m上)、倒伏を防ぐ。 4)茎葉処理:茎葉が完全に黄変したら刈取り(12月上旬)、ほ場から搬出して適正に処分する。 ※立枯病が発生しているほ場ではトリフミン水和剤かん注する 5)雑草対策:除草剤がアスパラガスに付着しないように注意して散布する。																								
農薬名(除草剤)			適用雑草	使用時期	回 数	10a当たりの使用量		処理方法	処理方法															
						薬 量																		
プリグロックスL			1年生雑草	萌芽前 (雑草草丈20cm以下)	3回以内	600～1000mℓ		100～150ℓ					雑草茎葉散布 うね間処理											
				収穫前日まで																				
ラウンドアップマックスロード				耕起前まで	1回	200～500mℓ		50～100ℓ					雑草茎葉散布 うね間処理											
				収穫前日まで																				
			スギナ	収穫前日まで	2回以内	1500～2000mℓ																		

※アベンジャーフロアブル、プリグロックスLの引渡しには、印鑑が必要。